

中学生の「税についての作文」

福岡県筑後県税事務所長賞

「税金のリレー」

大川市立大川桐薫中学校

三年 古賀舞桜

「学校きれいになってよかったね。実は私も学校建築の手伝いしたとよ。税金で。」

税金と聞いて私は近所の方がおっしゃっていたこの言葉を思い出した。この言葉からも分かるように私の学校は三年前に校舎の建て替えが行われた。義務教育の間は学校の設備や教科書が税金によって賄われていることを知っていた私はこの言葉を聞いても特に何も思わなかった。しかし、この後に近所の方がおっしゃった、

「でも、最近はず子どもが減って、高齢者が多くなっていきよるけんあなたの子どもが小学生になる時には教科書の一部を払わなければならなくなるかもね。」

ということを聞いて私は不安になった。

そこで私は、少子高齢化と税金の関係について調べてみた。少子化が進むと納税する人が減り、一人一人の負担が大きくなってしまふ。そのうえ、高齢化が進むと年金や医療の負担は大きくなってしまふ。そうなれば一人一人の納税額が多くなり、生活が困難になってしまふ人もでてくるかもしれない。しかしそこで一人一人の納税額を少なくすれば、救急車が出

動するのもお金が発生するようになったりごみ収集車が来なくなりごみが散乱したり日常生活に大きな支障がでてきてしまふ。

そうならないように政府は消費税を一〇％に引き上げるなどの対策を行っている。そんな中私達国民は、未来の税金を守るために何かできているだろうか。一部の人は、私達の子孫が生きる日本の未来ではなく自分が生きている今だけを考えて消費税を一〇％に引き上げた政府のことを批判している人もいる。そこで私達にできることは、学生、社会人に関係なく税金についての知識を改めることだと思う。日本国民全員で税金の大切さについて学び日本の未来を守る。私達日本国民は子どもころ税金に支えられ社会人になって税金を支えるようになりまた税金に支えられる。安全で楽しい生活のために必要な税金のリレー。社会人になった時、税金のバトンを受け取れるように今、私は今しかできない勉強を一生懸命がんばりたい。税金のバトンをつなぐために。

